

宮崎大学生協 廃油キャンドルのすすめ



[環境]

取り組み概要

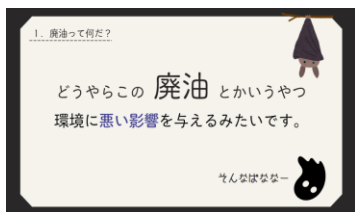
日時：10月30日(木) 18:30～
場所：木花食堂 多目的南
参加者数：20名

背景や概要：組合員に環境や防災について体験を通して学んでもらうことを目的に開催されました。廃油を身近なキャンドルの材料として活用することで、環境問題を自分ごととして捉えやすくし、楽しみながら学べる内容となっていました。

体験しながら環境について学ぼう！

POINT.1

まずは環境(廃油)について学ぼう！



本企画のメインはキャンドル作りですが、単にキャンドルを作るだけでは終わらない工夫が施されていました。体験に入る前に、「廃油とは何か」「廃油が環境にどのような影響を与えているのか」といった基礎的な説明があり、**環境問題にこれまで馴染みのない参加者にとっても学びのある時間**となっていました。

“私たちの身近にある廃油が引き起こす課題”を理解したうえで、その解決策の一つとして「廃油キャンドル作り」に取り組むという構成になっており、体験と学びが自然につながる内容になっていました。

POINT.2

廃油をキャンドルに！！

環境についての基本的な説明の後、いよいよ廃油キャンドル作りが始まりました。**使用した廃油は生協食堂で実際に出したもの**であり、組合員にとって“自分たちの大学の暮らしから出る廃油”を活用しているという実感につながっていました。

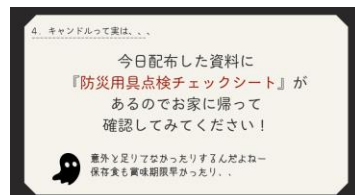
また、クレヨンやアロマオイルを使うことで、参加者一人ひとりがオリジナルのキャンドルを作れるよう工夫されており、体験の満足度も高まっていました。

コンロの使用は学生委員のみが担当するなど、**安全面への配慮**もきちんとなされており、リスクを最小限に抑える運営ができていました。



POINT.3

環境だけでなく幅広く日常を振り返る



キャンドルの「電気を使わない照明」という特徴から、**防災に関する話題**へと自然に展開することもできていました。

さらに、配布資料として「**防災用具チェックシート**」を配布することで、参加者が自宅に戻ってからも防災について考えるきっかけを提供しており、学びが一過性にならない工夫がされていました。

廃油キャンドル作りによって環境への関心を喚起し、完成したキャンドルや配布資料を持ち帰ることで、**企画後も継続して環境問題や防災について振り返ることができる**、まとまりのある構成となっていました。